

令和5年9月29日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 10月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

## 子どもの輝くとき

校長 井島 恵子

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、ようやく心地よい気候になりました。

9月21日～22日に、個別支援学級の旭区合同宿泊体験学習が行われました。行程等詳しくは中面をご覧ください。夏休み明けから1か月ほど時間をかけ、丁寧に準備をして当日を迎えました。在籍児童全員が元気に参加できてよかったと思っています。学年に応じた役割分担をし、訪れた先でもたいへんマナーよく過ごすことができました。交流級の子もたちから「行ってらっしゃい」「がんばってきてね」といった言葉も聞かれ、児童一人ひとりが達成感をもつことができたのではないかと感じています。

さて、来週は終業式が予定されています。この半年の間に学習中の子どもたちの素敵な表情に出会うことができました。それは、「できた!」「わかった!」ときの表情です。おそらく学校での学習は子どもたちの興味をひくものばかりではないでしょう。それでも調べてみたり、誰かに聞いてみたりして課題を解決していく力は、令和を生きるお子さんたちに必要な力なのだと考えます。

学校ならではの児童同士の学び合いや、多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする探究的な学びの姿が実現することを目指して、後期はより多くの場面でお子さんたちが「できた!」「わかった!」の表情になるよう、教職員一同支援して参ります。引き続き皆様のご理解とお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



**クラス新聞を作成しました。1か月ほど掲示予定です。**

先日、登校中の児童が、近隣の方から別の児童に宛てたお手紙を預かりました。差し支えなければ、と担任がそのお子さんに内容を尋ねたところ、毎朝挨拶をしてくれることが嬉しかったと書いてあったそうです。手紙を受け取った児童も、それを聞いていた周りにいた児童もとても喜んでいました。お手紙をくださった方には紙面を借りて御礼申し上げます。子どもたちは地域の皆様とのかかわりの中で、様々なことを学ばせていただいていると改めて感じる出来事でした。